

10JJSF 第1・2戦レース結果報告書

2010年度、昨年まで使用していたYAMAHA FZSからKawasaki Ultraへと機種変更し、昨年同様MR/ASTKクラスへの参戦でスタートしました。昨年度シリーズチャンピオンを獲得、マスターズクラスは参加人数の少ないカテゴリーですが、一人の参戦者としてレース業界を盛り上げるために、#1が出走することに意味があると思つての参戦です。

マシンの準備に手間取りレース直前になってマシンが手元に來たため、若干調整不足の状態。しかもメインマシンのKawasaki Ultra260が間に合わず、Ultra250にて開幕戦に挑むことに。ポテンシャル的に劣るこのマシン、次戦につながるポイントを稼ぐことができれば、という想いで挑みました。

第1戦、予選は2位で通過。そして向かえた8週の決勝、合流では2番手。ポテンシャルの劣るマシンでパスするには、先頭のUltra260を駆る選手が疲れるのを待つしかないと考え、5周目まではピッタリと後ろに付く作戦。ラスト3周目に入り思い切って選択コースをチョイス、これが功を奏して先頭に。幸いにも第1戦を優勝で終えることができました。

そして翌日の第2戦、予選を3位で通過。迎えた決勝、合流ではSEA-DOO isとUltra260に先行され3番手。3番手と言うこともあり早めに仕掛けてみるのですが、昨日のようには旨く行かず、2番手のUltra260には迫るもののパスするには至りません。最終ラップまで全力を尽くしたのですが、第2戦は3位で終了。

この結果、シリーズポイントは同率で1位という結果になっています。この結果に満足しているわけではありませんが、ポテンシャルの劣るマシンでこの結果、次につながる内容だと思っております。

さて緒戦を終えた現在、ようやくメインマシンが準備できました。テスト結果も上々で、今後はマシン差を理由にできないほどの仕上がりとなっております。次戦までの期間、さらに内容を煮詰め、よりマシンポテンシャルを向上させた状態で挑むことができそうです。

レーシング・スポーツクラブ・メイエン

#1：内橋誠司